

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	一般社団法人weighty 重症児デイサービスkokoro		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 5日		～ 2024年 11月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 5人
○従業者評価実施期間	2024年 10月 5日		～ 2024年 10月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	20人	(回答者数) 20人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 13日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	放課後児童クラブ(民間学童MAPS)との交流や活動がある。	お互いに良い相乗効果をもたらせるようにしている。年上の子どもとの関わりを意識している。 必ず自己紹介をしている。仲を深めるために、少人数のグループ毎で関わりをもっている。	同年代の子どもたち(保育所や幼稚園)との関わりが少ないので機会があれば実施していく。 ニュースポーツなど、みんなでできることを企画し、実施していく。
2	家族参加型イベントやきょうだい向けのイベントの実施をしている。	利用児と家族と一緒に出来る製作を考え、利用児ができるよう工夫し実施している。 イベントでは、きょうだい児のみで集まれる場所を作り、仲を深められるようにしている。 家族間のコミュニケーションが取れるよう、声かけや配置を考えている。	家族主体のイベント(以前行ったヨガ教室など)を実施していく。
3	保護者からの相談について迅速に対応している。	些細なことでも、多職種で共有し、アドバイスができるようにしている。 必要時、関係機関との情報提供を行っている。	これからも満足してもらえるように継続していく。 ご意見箱をもっと活用し、気軽に利用してもらえるよう、アナウンスしていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)は行っておらず、家族等も参加できる研修会などの情報提供の機会が少ない。	チラシや事業所内に掲示しているが、家族が見る機会が少ない。 保護者・きょうだい児参加型の研修会(子どもと参加できる)自体が少ない。	SNSや公式LINEを活用して発信していく。 掲示してある物には、ご家族に声かけしていく。
2	生活空間についてどのように子どもが過ごしているか伝わりづらい。	普段の生活空間を見る機会が少ない。 玄関での受け渡しになっている。 モニタリング時に日中の活動の様子を見て頂くのみになっている。	SNSで生活空間を発信していく。 保護者の方がいつでも入れるような雰囲気作りをする。 環境整備など、委員会の活動を家族にも分かるように発信していく。
3	廊下や通路に物やバギーがおいてあり、通行の妨げになっている。また、マットで過ごす子の近くにワゴンなどがあり、高い所に物がある。	使わなくなったバギーや物がある。 ワゴンを一人一人利用しているので、子どもの近くにある。	さらに整理整頓をして、バギーの置き場の確保をする。 マット使用時は、ワゴンを使用しない。